

為政第二

孟武伯問孝。

子曰、父母唯其疾之憂。

もうぶはく こう と
孟武伯、孝を問う。

しい ぶ ぼ ただ そ やまい こ うれ
子曰わく、父母は唯其の疾を之れ憂う

(2-22)

< 孟武伯、孝を問う。 >

Q : 「孟武伯、孝を問う」とは何ですか。

A : (1) 「魯の国の家老の子であった孟武伯が、ある時、孔子に孝を尋ねた」の意。

(2) 「孟武伯が、孝とはどうすることかと質問した」の意。

< 子曰わく、父母は唯其の疾を之れ憂う >

Q : 「子曰わく、父母は唯其の疾を之れ憂う」とは何ですか。

A : (1) 「孔子が言った。父であれ、母であれ、両親というものは、子供の病気のことばかり心配しているものだ(だから、子供は、親のその心にそって、自分の健康に留意するのが、親孝行というもの。)」の意。

(2) 「これに対して孔子は、父母は何にもまして、ただ子供の病気のみを心配しているのだから、身体を大切に、健康であることが孝行であると答えた」の意。

(3) この文章には、次のような異説がある。つまり「其疾」を父母の病気とみて、父母の病気をひたすら心配して親が病気にかからないようにと常に憂えるのが孝行だという説。ただ、子供の病気ほど心配なことはない。やはり、丈夫で健康な身体をつくるということが親孝行の第一義。もちろん、親の憂えとなるような悪いことをなすべきではないことは、いうまでもない。

2011年6月20日林明夫記